

## 日本赤十字社より感謝状をいただきました

令和7年3月11日

令和7年3月11日神奈川県庁において、日本赤十字社神奈川県支部に災害救援車を寄贈したことに對して、日本赤十字社より感謝状をいただきました。



左から 神奈川県遊技場協同組合小林昇副理事長、同伊坂重憲理事長、黒岩知事（日本赤十字社神奈川県支部長）、神奈川県遊技場協同組合佐藤信晶専務理事

災害救援車は、災害時に医師や看護師等の医療スタッフの救護活動などに使用される車両で、昨年寄贈した車両は令和6年能登半島地震の被災地で使用されています。

私たち遊技業界では、日本赤十字社の人のいのちを救う様々な活動への一助になればという思いで、神奈川福祉事業協会を設立した昭和60年2月から支援を継続しています。

また、東日本大震災から14年となるこの日、発生時刻に合わせ黙とうを行い、犠牲者に祈りを捧げました。



黙とうの様子



寄贈車両の前で救護員の方々と記念撮影

「災害が起きる前に私たちができること」を考え、支援を継続してまいりましたが、万が一の際には被災地での救護活動など、有効に活用いただければ幸いです。

私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。